

令和 7 年度 神奈川県人権意識調査（案）

資料 2 - 2

1. フェイスシート項目一覧

	設問の内容	選択肢等
問 1	あなたの住まいを教えてください。	1 横浜地域（横浜市） 2 川崎地域（川崎市） 3 横須賀三浦地域（横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町） 4 県央地域（相模原市、厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村） 5 湘南地域（平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町） 6 県西地域（小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町）
問 2	あなたの年齢を教えてください。	1 18歳未満 2 18歳、19歳 3 20代 4 30代 5 40代 6 50代 7 60代 8 70代以上 9 答えたくない
問 3	あなたの性別を教えてください。	1 男性 2 女性 3 その他 4 答えたくない
問 4	あなたの職業を教えてください。	1 正規の職員、従業員（役員等を含む） 2 非正規の職員、従業員（パート、アルバイト、契約、嘱託、派遣等） 3 自営業、自由業 4 家族従業、家業手伝い 5 主婦、主夫 6 生徒、学生 7 無職 8 その他（具体的に） 9 答えたくない

問5	あなたの年収を教えてください。	1 100万円未満 2 100万～300万円程度 3 300～600万円程度 4 600～1000万円程度 5 1000万円以上 6 収入はないが資産（貯蓄、株式配当、不動産等）による収入がある 7 答えたくない
問6	あなたの障がいの有無について教えてください。	1 障がい者手帳、療育手帳をもっている 2 障がい者手帳、療育手帳をもっていない 3 分からない 4 答えたくない

2. 調査項目一覧

	設問の内容	選択肢等
1. 人権全般に対する意識		
問1	あなたは、日常生活の中で、自分自身、または周りの人（家族や友人、職場の同僚など）の人権が尊重されていないと感じたことはありますか。	ある・ない
問2	（問1で「ある」と回答した方） それはどのような内容ですか。（複数選択可）	・職場での不当な待遇や言動をうけた ・あらぬ噂や悪口や陰口を言われた ・名誉・信用を傷つけられたり、侮辱されたりした ・学校や職場、地域などで仲間外れにされた ・権利の行使を妨害された ・SNSなどインターネット上に、個人情報や差別的な情報を掲載された ・不平等や不利益な扱いを受けた ・セクシャルハラスメントをうけた ・夫婦間や交際相手、家族から暴力を受けた ・ストーカー被害を受けた ・その他
問3	あなたが人権に関わる項目のうち、関心があるもの全てお選びください。（複数選択3つまで可）	・子どもの人権 ・女性の人権 ・男性の人権 ・障がい者の人権 ・高齢者の人権 ・疾病等（エイズ、ハンセン病患者、コロナ等の感染症等）にかかる人権課題 ・同和問題（部落差別） ・外国籍県民等の人権 ・貧困等にかかる人権課題 ・犯罪被害者等の人権 ・北朝鮮当局による拉致被害者等 ・性的マイノリティ（LGBT等） ・インターネット上の人権侵害 ・ケアラー、ヤングケアラーの人権 ・災害発生時の人権侵害 ・働く人の人権侵害 ・アイヌ民族の人権 ・孤独・孤立による人権課題 ・刑を終えて出所した人の人権 ・特にない

	設問の内容	選択肢等
2. 人権教育・人権啓発		
問 4	人権教育を促進していくためには、学校においてどのような取組を進めていけばよいと思いますか。（複数選択 3 つまで可）	・教職員等への人権に関する研修を実施する ・人権感覚を育成する教育を行う ・差別の現状や歴史などが理解できる教育を行う ・参加体験型学習のプログラムを開発、普及していく ・障がい者や高齢者などと交流できる場を多くする ・人権についての作文コンテストや絵のコンテストなどを実施する ・人権についての動画やSNSを活用した教材や資料を配信する ・「ともに生きる社会かながわ憲章」についての教育を行う ・地域において、人権教育を推進する指導者を育成する ・現状のままでいい ・分からない
問 5	人権啓発推進のためには、どのような活動が有効だと思いますか。（複数選択 3 つまで可）	・メディア（テレビ、ラジオ、新聞等）を通じた啓発 ・広報紙やチラシやパンフレットで啓発 ・SNSやホームページなどインターネット上の啓発 ・イベントの開催 ・NGO・NPO等との協働・連携 ・講演会や企業・団体向けの研修や啓発活動 ・人権に関する法律の理解促進 ・分からない
3. 相談・支援体制		
問 6	あなたが人権侵害に直面したときに、どのような方法なら相談しようと思いますか。	・公的機関による対面での相談 ・公的機関による電話相談 ・公的機関によるメール、SNSやチャットを活用した相談 ・公的機関による手紙での相談 ・弁護士など専門家による相談 ・民間支援団体による対面での相談 ・民間支援団体による電話相談 ・民間支援団体によるメール、SNSやチャットを活用した相談 ・民間支援団体による手紙での相談 ・相談しないで我慢する ・分からない ・答えたくない

	設問の内容	選択肢等
4. 子ども		
問7	子どもの人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。（複数選択3つまで可）	・保護者による虐待・暴力 ・いじめ、仲間はずれや無視 ・子どもの意見が尊重されない ・教師等からの体罰や暴言等 ・不登校・ひきこもり ・性犯罪、児童買春・児童ポルノ ・子どもの周囲に薬物乱用につながる環境がある ・進学や習い事等の体験など教育を受ける機会の格差 ・子どもの貧困 ・インターネットやSNSによるいじめや犯罪 ・特にない ・分からない
問8	子どもの人権を守るためにはどのようなことが必要だと思いますか。（複数選択3つまで可）	・自分も他人も大切にする人権教育を行う ・家庭内の人間関係を安定させる ・児童虐待の発見の体制づくり ・いじめ対策を推進する ・人権に配慮した学校教育を推進する ・教師等の人間性、指導力を高める ・犯罪の取り締まりを強化する ・不登校やひきこもりなどの対策を推進する ・地域の人々が関心をもって接する ・インターネットを活用する上での教育や啓発に力を入れる ・電話、手紙、SNSなどによる人権相談 ・分からない

	設問の内容	選択肢等
5. 女性		
問9	女性の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。（複数選択3つまで可）	・ 固定的な性別役割分担意識を押し付けられる ・ DVや経済的な問題など困難な問題が複合して複雑化している ・ 職場における差別待遇 ・ 性犯罪、性暴力 ・ セクシャル・ハラスメント ・ ストーカー行為 ・ パートナーや家族等からの暴力 ・ 売春・買春、援助交際 ・ ポルノに係る被害 ・ 予期しない妊娠 ・ 特にない
問10	女性の人権を守るためにはどのようなことが必要だと思いますか。（複数選択3つまで可）	・ 男女平等の教育を推進する ・ 性犯罪の取り締まりを強化する ・ セクシュアルハラスメントを根絶する ・ 就業機会や職業能力開発の機会を充実する ・ 女性の働きやすい就業環境の整備 ・ 育児や介護の基盤整備 ・ 捜査や裁判での女性の担当者の増員 ・ シェルター・一時保護体制を整備する ・ 女性の相談支援を充実する ・ 相談機関などが被害者に対して配慮する ・ 男女共同参画社会の実現に向けた啓発活動を推進する ・ 特にない

	設問の内容	選択肢等
6. 障がい者		
問11	障がい者の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。（複数選択 3 つまで可）	・ 視覚・聴覚・肢体などの身体障がいについての理解が十分でないこと ・ 発達障がい・精神障がいについての理解が十分でないこと ・ 職場において不利な扱いを受けること ・ 建物等の段差などバリアフリーの面で移動に支障があること ・ 障がい者支援のサービスが十分でないこと ・ 障害者支援施設やグループホームに入れないこと ・ アパート等への入居が難しいこと ・ 財産管理等の経済生活をめぐる権利侵害を受けること ・ 文化・芸術活動への参加の機会が少ないこと ・ 結婚問題で、周囲に反対を受けること ・ 在宅サービスが十分でないこと ・ 施設や病院が自由を制限すること ・ 特にない
問12	障がい者の人権を守り、ともに生きる社会を実現していくためには、どのようなことが重要だと思いますか。（複数選択 3 つまで可）	・ 障がい者本人の意思を尊重する ・ 障がい者が生活しやすい環境にする ・ 学校において障がい者の人権について教育を行う ・ インクルーシブ教育を充実する ・ 雇用・就業機会を確保する ・ 建物の設備や公共交通機関を改善する ・ 保健、医療、福祉サービスを充実する ・ 障がいのある人とない人との交流を促進する ・ とともに生きる社会かながわ憲章の理念の普及や当事者目線の障害福祉を推進する ・ 相談支援を充実する ・ 成年後見人制度などの制度の利用を促進する ・ 文化芸術・スポーツ等の活動に参加しやすくする ・ 財産の保管サービスを充実する ・ 施設や病院等への苦情を中立的立場で解決する制度を充実する ・ 特にない

	設問の内容	選択肢等
7. 高齢者		
問13	高齢者の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。（複数選択3つまで可）	・振り込め詐欺などの被害者が多いこと ・経済的な保障が十分でないこと ・働ける能力を発揮する機会が少ないこと ・周囲の認知症への理解が足りないこと ・高齢者に冷たい態度をとったりすること ・建物の段差などバリアフリーでないため外出に支障があること ・財産管理等の経済生活をめぐる権利侵害を受けること ・施設サービスが十分でないこと ・在宅サービスが十分でないこと ・介護人材が不足していること ・介護の際に身体を拘束されること ・特にない
問14	高齢者の人権を守るためにはどのようなことが必要だと思いますか。（複数選択3つまで可）	・生活しやすいまちづくりを推進する ・振り込め詐欺などの犯罪から守る ・本人の意思を尊重した介護を行う ・高齢者の就職機会を確保する ・高齢者とほかの世代との交流を促進する ・高齢者の財産の保管サービスを充実する ・苦情を中立的立場で解決する制度を充実する ・成年後見制度などの制度の利用を促進する ・相談支援を充実する ・人権を守るための教育・啓発活動を充実する ・災害時や感染症発生時の行政の対応を強化する ・生涯学習や生涯スポーツを推進する ・ロボットやICTの導入促進により介護事業所の職員の負担を軽減する ・特にない

	設問の内容	選択肢等
8. 疾病等にかかる人権課題		
問15	疾病等（例 HIV感染症、ハンセン病、がん、肝炎、難病、新型コロナウイルス感染症 など）の影響で人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。（複数選択 3 つまで可）	・差別的な言動を受けること ・就職や職場で不利な扱いを受けること ・結婚問題で周囲に反対されること ・治療や入院を断られること ・自立した生活を営むのが困難なこと ・アパート等の入居を拒否されること ・宿泊を拒否されること ・無断でエイズ検査等を行うこと ・患者やその家族に対して偏見や差別があること ・医療従事者やその家族に対して誹謗中傷があること ・外国人が不当な取扱いをされること ・特になし
問16	疾病等に係る人権を守るにはどのようなことが必要だと思いますか。（複数選択 3 つまで可）	・病気や症状などに対して正しい知識をもつ ・患者やその家族への支援を充実すること ・相談支援を充実すること ・保健医療サービスの適切な選択ができるように正確な情報提供を行うこと ・医療機関を支援すること ・患者や医療従事者等の人権に関する啓発をすること ・患者の治療と仕事を両立するため働きやすい職場環境を推進すること ・ロボットやICTの導入により医療従事者の負担を軽減すること ・災害時や感染症発生時に対する行政の対応を強化すること ・特になし

	設問の内容	選択肢等
9. 同和問題（部落差別）		
問17	同和問題（部落差別）について初めて知ったきっかけは何ですか。（1つのみ選択） （同和問題（部落差別）とは、一部の人々が、特定の地域出身であることや、そこに住んでいることを理由に日常生活の上で様々な差別を受けるといった、わが国固有の人権課題のことをいいます。）	・祖父母、父母、兄弟などの家族から聞いた ・親戚から聞いた差別的な言動をすること ・近所の人から聞いた ・学校の友達から聞いた ・学校の授業で教わった ・職場の人から聞いた ・テレビ、ラジオ、新聞、本などで知った ・インターネットで知った ・同和問題の集会や研修会で知った ・県や市町村の広報紙等で知った ・その他 ・おぼえていない ・同和問題について知らない
問18	同和問題（部落差別）に関し、現在、どのような問題が起きていると思いますか。（複数選択3つまで可）	・結婚・交際で周囲が反対すること ・差別的な言動をすること ・就職、職場で不利な扱いをすること ・誤った偏見から交際を避けること ・身元調査をすること ・インターネットに情報を掲載すること ・えせ同和行為があること ・差別的な落書きをすること ・その他 ・特になし
問19	同和問題（部落差別）の解決には、どのようなことが必要だと思いますか。（複数選択3つまで可）	・同和問題（部落差別）についての教育や啓発活動を推進する ・部落差別解消推進法や理念の理解を促進する ・差別を助長するようなネット情報の拡散防止対策を充実させる ・えせ同和行為を排除する ・自由な意見交換ができる環境をつくる ・相談支援を充実する ・同和問題（部落差別）を知らない ・特になし

	設問の内容	選択肢等
10. 外国籍県民等		
問20	外国籍県民等の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。（複数選択 3 つまで可）	・外国人を理由に侮辱や嫌がらせを受けること ・言葉が通じない ・職場において不利な扱いを受ける ・地域社会で受け入れられにくい ・本名を名乗れない ・公共施設等に十分な外国語表記がない ・福祉政策が適用されない ・アパートなど住居への入居が困難である ・ヘイトスピーチを受ける ・ヘイトスピーチを規制する法令が整備されていないこと ・学校に通っていない不就学の子どもがいる ・選挙権がない ・お店等でサービスが受けにくい ・結婚問題で、周囲から反対を受ける ・特にない
問21	外国籍県民等の人権を守るにはどのようなことが必要だと思いますか。（複数選択 3 つまで可）	・国際理解を進める教育をする ・地域住民との相互理解を深める ・教育を受ける機会を確保する ・必要な情報を外国語により提供する ・簡単な日本語で説明する ・外国籍県民等の就労機会を確保する ・相談支援を充実する ・ヘイトスピーチ対策を推進する ・外国籍県民等の行政への参画を推進する ・特にない

	設問の内容	選択肢等
11. 貧困等にかかる人権課題		
問22	貧困等にかかる人権課題において、貧困等に苦しむ方の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。（複数選択 3 つまで可）	・ 経済的な自立が困難なこと ・ （ホームレスに対して）通行人が暴力をふるうこと ・ 差別的な言動を受けること ・ じろじろ見られたり、避けられたりすること ・ 就職、職場で不利な扱いを受けること ・ 近隣住民から嫌がらせを受けること ・ アパート等の入居を拒否されること ・ 店舗の入店や施設の利用を拒否されること ・ ホテル等への宿泊を拒否されること ・ 特にない
問23	貧困等にかかる人権を守るにはどのようなことが必要だと思いますか。（複数選択 3 つまで可）	・ 就労の支援をすること ・ 住居の支援をすること ・ 生活保護を受けられるようにすること ・ 職業訓練や教育を受けられるようにすること ・ 税金や公共料金などを免除すること ・ 孤立化しないように交流の場をつくること ・ 貧困に苦しむ人を理解するための教育をすること ・ 母子家庭に対して支援すること ・ 子どもの貧困対策（子ども食堂など）に取り組むこと ・ 若者の進学や就労を支援すること ・ 生活福祉資金等の貸付や給付金をすること ・ 相談支援を充実する ・ 特にない

	設問の内容	選択肢等
12. 犯罪被害者等		
問24	犯罪被害者等の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。（複数選択3つまで可）	・報道によって私生活の平穏が保てない ・周囲にうわさ話をされる ・SNSなどに誹謗中傷が書き込まれる ・警察に相談しても対応を得られない ・精神的なショックを受ける ・裁判等で精神的な負担を受ける ・犯罪行為等により経済的な負担をうける ・被害者の声が十分に反映されない ・特にない
問25	犯罪被害者等の人権を守るためにはどのようなことが必要だと思いますか。（複数選択3つまで可）	・プライバシー侵害がないように報道内容を配慮する ・SNSなどに書き込まれた誹謗中傷を削除する ・学校で命の大切さ、他人を思いやる気持ちや規範意識を醸成する ・行政が民間支援団体との協力や連携に取り組む ・県、県警察及び民間支援団体で構成する「かながわ犯罪被害者サポートステーション」での支援（法律相談、カウンセリング、緊急避難のための宿泊支援等）を充実する ・性犯罪、性暴力の被害者が安心して相談し、必要な支援がワンストップで受けられる、かながわ性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター「かならいん」の支援を充実する ・犯罪被害者等を支える人材を育成する ・特にない

	設問の内容	選択肢等
13. 北朝鮮当局によって拉致された被害者等		
問26	北朝鮮当局による拉致問題について、どのようなことが人権課題だと思いますか。（複数選択3つまで可）	・被害者の情報が全く得られないこと ・当然の権利を奪われていること ・自由が奪われ帰郷できないこと ・国の支援が足りないこと ・拉致問題に対する理解が足りないこと ・傷つけるような報道があること ・興味本位で見ていること ・差別的な言動をすること ・その他 ・特にない
14. 性的マイノリティ		
問27	性的マイノリティの人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。（複数選択3つまで可）	・性的マイノリティへの理解が足りないこと ・性的マイノリティの権利を守る法令が整備されていないこと ・男らしさ、女らしさなどの社会規範が根強いこと ・差別的な言動を受けること ・職場等において、嫌がらせを受けること ・じろじろ見られたり、避けられたりすること ・就職・職場で不利な扱いを受けること ・アパート等の入居を拒否されること ・店舗等の入店や施設利用を拒否されること ・宿泊を拒否されること ・DV被害を受けること ・インターネットで誹謗中傷をされること ・その他 ・特にない
問28	性的マイノリティの人権を守るにはどのようなことが必要だと思いますか。	・性的マイノリティへの理解を深める教育を充実する ・生活しやすい環境を整備する ・同性パートナーを公認する制度をつくる ・啓発活動を推進する ・働きやすい職場をつくる ・性別欄を配慮したものにする ・相談支援を充実する ・DV被害にあった場合の緊急避難先をつくる ・その他 ・特にない

	設問の内容	選択肢等
15. インターネットによる人権侵害		
問29	インターネットによる人権侵害に関して、どのような問題が起きていると思いますか。（複数選択 3 つまで可）	・ 個人や特定の団体への誹謗中傷や差別を助長する書き込み ・ 無断で他人の個人情報公開する ・ 事実と異なる情報（フェイクニュース）を掲載する ・ 悪徳商法による被害が起きている ・ 犯罪を誘発する場となっている ・ 児童ポルノやリベンジポルノの投稿がされる ・ 識別情報の摘示（部落に関する情報をインターネットに掲載する等）がされる ・ その他 ・ 特になし
問30	インターネットによる人権侵害を防ぐにはどのようなことが必要だと思いますか。（複数選択 3 つまで可）	・ 監視、取り締まりを強化する ・ プロバイダ等に対し情報の削除を求める ・ プロバイダ等の自主規制の取組を推進 ・ 相談支援を充実する ・ インターネットの適切な利用や情報セキュリティ対策、ルール、マナーを守ること等についての教育・啓発を推進する ・ 子どものインターネット利用を制限する ・ プライバシー等に関する啓発を行う ・ その他 ・ 特になし
16. 様々な人権課題		
問31	神奈川県では「かながわ人権施策推進指針」を策定し、子ども、女性、障がい者、高齢者、疾病等にかかる人権課題、同和問題（部落差別）、外国籍県民等、貧困等にかかる人権課題、犯罪被害者等、北朝鮮当局によって拉致された被害者等、性的マイノリティ、インターネットによる人権侵害といった分野の取組の方向性を定めています。こうした人権課題以外に「かながわ人権施策推進」に追加した方がよい分野は何だと思いますか。（複数選択 3 つまで可）	・ 働く人の人権 ・ ケアラー・ヤングケアラー ・ アイヌ民族 ・ 災害時の人権 ・ 孤独・孤立による人権課題 ・ その他（自由記載） ・ 特になし

	設問の内容	選択肢等
17. 人権施策の推進体制		
問32	人権施策を推進していくために重要なことは何だと思いますか。（複数選択 3 つまで可）	・ 国、県、市町村が連携していくこと ・ NPO など民間団体を支援すること ・ 民間企業の取組を支援すること ・ 官民で連携していくこと ・ 学校における人権教育を充実すること ・ 多様な個性を認め合える教育を推進すること ・ 被害者の救済を充実すること ・ 社会的に弱い立場にある人に対して支援すること ・ 啓発・広報活動を推進すること ・ イベントや広報など人権啓発運動を推進すること ・ 人権に関わる職業従事者への人権啓発を充実させること ・ 人権問題に関する相談支援を充実すること ・ 情報の収集及び提供を充実すること ・ その他 ・ 特にない
問33	自由記述欄 (その他ご意見等ございましたらご記載ください)	文字数100字まで